

社団法人日本産業広告協会 広 告 綱 領

理 念

国際化、情報化する21世紀を迎え、日本産業広告協会の加盟社およびその社員（以下協会会員という）は、それぞれの立場において産業広告の社会的、経営的使命を認識し、その所期の広告目的を効果的、効率的に追求するとともに、産業広告界の発展が持続するよう、ここに広告綱領を定めます。

産業広告とは、「ビジネス商品、ビジネス・サービス市場を対象とする企業間取引の創造と継続を円滑に推進し、支援するための組織的コミュニケーション活動である」ことを確認し、公共的、文化的使命を果たすため、自らを厳しく律し、品格を重んじることを誓います。

指 針

1. 品 格

社団法人の協会会員にふさわしい品格を備え、あらゆる顕在的・潜在的な反社会性にも配慮した産業広告活動に徹し、活力に溢れた豊かな社会づくりに貢献します。

2. 公共性

産業広告のもつ公共性・社会性を認識し、安全性の確保、資源の有効活用、環境、福祉への配慮、文化的・審美的な影響の考慮などを怠りません。

3. 法規の遵守と学習

広告およびその関連の法規を遵守するとともに、常に法規の学習に努め、必要なルールづくりには積極的に取り組みます。

4. 創造性

革新的・創造的発想に努めるとともに、21世紀の社会にふさわしいクリエイティブ・ワーク、たとえば快適さを徹底的に追求する広告のユニバーサル・デザインの構築をめざします。

5. 公正な取引

協会会員が広告主、広告会社、媒体社などそれぞれの立場を尊重し、産業広告界の発展と信頼の確立のため、広告取引上の公正な関係を保持します。

6. 国際性

あらゆる国や地域の固有文化、様々な商業ルールに深い理解をもって国際社会に対応し、秩序と調和ある産業広告活動を遂行します。

7. 倫理水準の向上

協会会員は、常に高い倫理意識をもつとともに、その水準の向上をはかるため広告倫理の学習と構築に励みます。